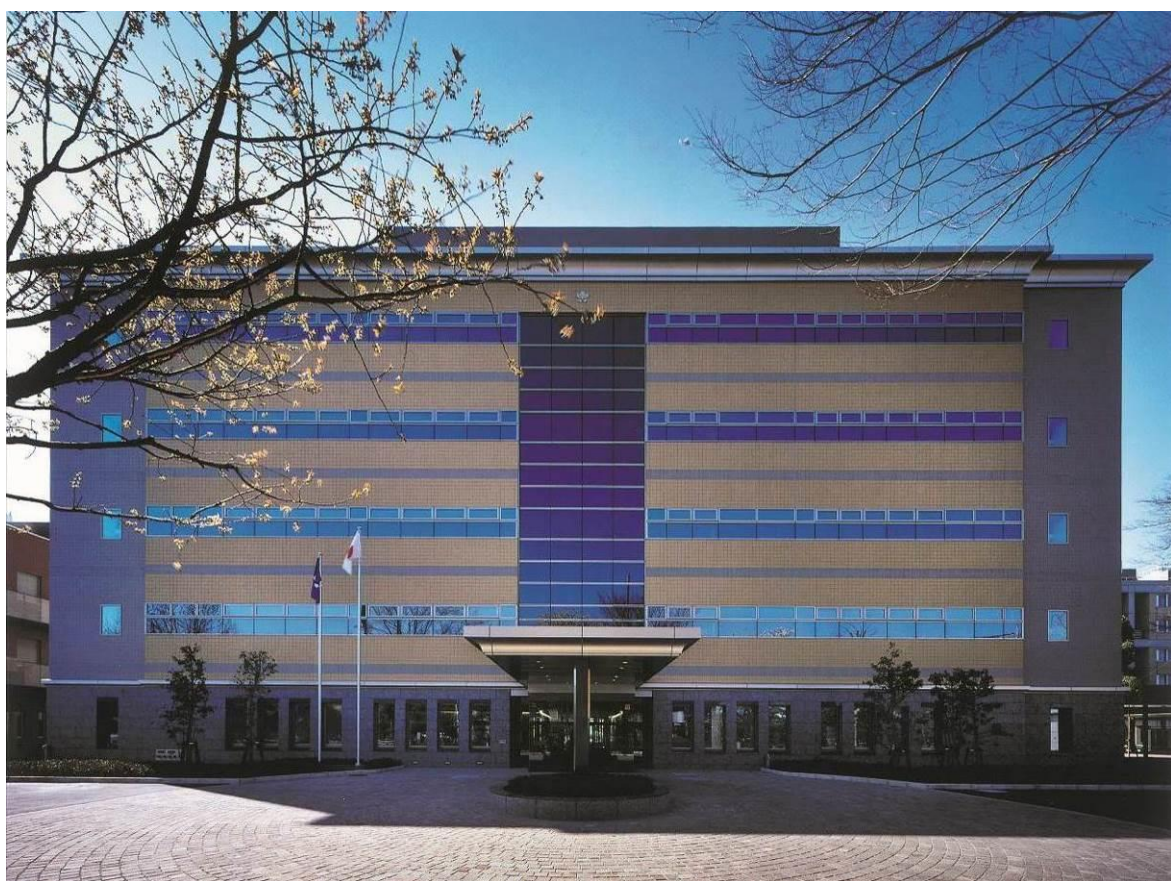




令和 8 年度

# 教育訓練実施要領



## 消防大学校





## 目 次

【令和８年度 学科・実務講習に関する教育訓練実施要領】	1
はじめに	1
1 教育訓練計画	1
(1) 目的及び主な内容	1
① 学 科	1
② 実務講習	2
(2) 定員及び日程	3
① 学 科	3
② 実務講習	5
2 入校・受講資格	7
(1) 共通事項	7
(2) 学科・実務講習ごとの入校・受講資格	8
① 学 科	8
② 実務講習	10
3 入校・受講手続	11
(1) 学科の入校手続	11
(2) 実務講習の受講手続	11
(3) 提出書類	12
(4) 提出先	12
(5) 各種様式	13
様式 1 学科申告書(消防団長科を除く)	13
様式 2 学科申告書(消防団長科)	17
様式 3 実務講習申告書	19
4 入校経費	23
5 eラーニング及びリモート授業の学習推奨環境	24
(1) eラーニング	24
(2) リモート授業	24
6 その他	25
(1) 新型コロナウイルス感染症等の対策	25
(2) 入寮中の食事について	26
(3) 携行品	25
(4) 入校・受講受付等	26
【よくあるご質問】	27
【消防大学校へのアクセス】	29



## 【 令和 8 年度 学科・実務講習に関する教育訓練実施要領 】

### はじめに

令和 8 年度における教育訓練は、

- 消防大学校における入校期間(教育期間)に含まれない **e ラーニング**<sup>(※1)</sup>
- 消防大学校における入校期間(教育期間)に含まれる **リモート授業**<sup>(※2)</sup> 及び **全寮制による教育訓練**

により実施する。

(※1) 入校に先立ち、消防大学校が指定する科目を、入校予定の学生が地元消防本部や自宅等において学習するものであり、下記 1(2)①及び②で示す「e ラーニング期間」に確実に修了することが必要

(※2) 入校後、消防大学校が実施するカリキュラムであり、入校学生が地元消防本部や自宅等において、下記 1(2)①及び②で示す「リモート授業期間」に実施する講義等をリアルタイムで受講するもの

## 1 教育訓練計画

### (1) 目的及び主な内容

#### ① 学 科

区 分		目 的	主な内容	成績 評価	モー ニング	リモ ート授業
総合教育	幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部に相応しい人材を養成する。	○ 行政動向全般、消防関係法制、組織運営、実務研究 ○ 現場指揮論、安全管理、多様な指揮訓練、図上訓練	有	有	有
	上級幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。	○ 行政動向全般、消防実務管理、危機管理 ○ 図上訓練、指揮シミュレーション	—	—	—
	新任消防長・学校長科	新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。	○ 行政動向全般、危機管理 ○ 指揮訓練、図上訓練、指揮シミュレーション	—	—	—
	消防団長科	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。	○ 消防団運営、女性消防団活動 ○ 行政動向、消防実務管理、安全管理、図上訓練	—	—	—
専科教育	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 安全管理、警防活動の多様な理論・事例・戦術、指揮訓練、図上訓練 ○ 教育技法、講義演習	有	有	有
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 安全管理、救助活動の多様な理論・事例・技術・戦術、指揮訓練 ○ 訓練の企画・運営演習	有	有	有
	救急科	救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を総合的に修得させ、救急業務の教育指導者等としての資質を向上させる(指導救命士養成教育を含む。)	○ 救急活動の多様な理論・事例・技能訓練 ○ 訓練の企画・運営演習・救命士再教育(課題研究)	有	有	有
	予防科	予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 予防業務に関する行政動向・法制、燃焼理論、性能規定、防火査察、防火管理その他火災予防の制度 ○ 教育技法、講義演習	有	有	有
	危険物科	危険物保安に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 危険物保安に関する行政動向・技術基準・性能規定、企業防災 ○ 危険物物理化学・材料工学の理論、実務研究・演習	有	有	有
	火災調査科	火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 火災調査概論、燃焼理論、火災調査の現場運営・鑑識要領、模擬家屋調査実習、訴求対応 ○ 教育技法、講義演習	有	有	有
	新任教官科	新任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、その職に必要な知識及び能力を専門的に修得させる。	○ 教育心理学、教育技法、講義演習 ○ 消防実務管理、安全管理、実務研究	—	—	—
現任教官科	現任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、業務運営の企画及び予防業務並びに警防業務を包括的に指導できる能力を向上させる。	○ 行政動向全般、実務研究 ○ 安全管理、訓練の企画・運営演習	—	—	—	

※ 1 所定の学科を修了したと認めた学生に対し、卒業証書を授与する。

※ 2 入校期間(教育期間)中の欠席時間数が当該学科の時間数の 4 分の 1 を超える者については、原則、所定の学科を修了したと認めない。

※ 3 入校に当たり、事前に課題を課すことがある(学科ごとに個別に通知する)。

※ 4 成績評価を実施する学科は効果測定を行い、成績評価の結果は任命権者に通知する。



## ②実務講習

区 分	目 的	主な内容	テー ニン グ	リモ ー ト 授業
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 緊急消防援助隊の部隊運用・指揮要領、NBC 災害、航空隊と地上部隊の連携、図上訓練	— 有
	高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 高度資機材の取扱い訓練、高度救助活動の現場管理、安全管理、実務研究	— —
	NBCコース	緊急消防援助隊のNBC災害要員等に対し、NBC 災害対応業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ NBC 災害の初動対応、活動技術、活動訓練、図上訓練 ○ 安全管理、NBC 災害対応部隊活動の実務研究	有 有
	航空隊長コース	消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 航空隊の運用・活動統制、広域応援、航空隊と地上部隊の連携、航空隊員の育成	— 有
危機管理・防災教育科	危機管理・国民保護コース	地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 危機管理・防災、国民保護に関する行政動向、多様な図上訓練、実務研究	— —
	自主防災組織育成短期コース	自主防災組織の指導、育成等の業務に携わる職員に対し、その業務に必要な基礎的知識及び能力を修得させる。	○ 地域防災行政、自主防災活動の推進、図上訓練、屋外演習	— —
	消防団活性化推進コース（行政職員）	消防団の加入促進や教育訓練等充実強化業務に携わる者に対し、その業務に必要な実務的な知識及び能力を修得させる。	○ 消防団法制、運営、予算、消防団用資機材に関する訓練指導、安全管理、課題研究	— —
その他	女性活躍推進コース	女性消防吏員の幹部候補生に対し、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させる。	○ 女性消防吏員のキャリアパス、ロールモデル事例、消防実務管理、指揮訓練、課題研究	有 有
	査察業務マネジメントコース	消防本部の予防業務を主管する係長以上の者に対し、違反処理をはじめとする査察業務全般をマネジメントするために必要とされる高度な知識及び能力を修得させる。	○ 予防業務に関する行政動向、査察計画と進捗管理、予防における人材育成、違反処理対策、関係法令等知識、課題研究	— —

※1 所定の実務講習を修了したと認めた学生に対し、修了証を授与する。

※2 入校期間(教育期間)中の欠席時間数が当該実務講習の時間数の4分の1を超える者については、原則、所定の実務講習を修了したと認めない。

※3 「自主防災組織育成短期コース」については、入校期間(教育期間)中、一部でも欠席時間がある者については、原則、所定の実務講習を修了したと認めない。

※4 入校に当たり、事前に課題を課すことがある(実務講習ごとに個別に通知する)。





## (2) 定員及び日程

## ① 学 科

区分	学科等の 名称	期・ 回数	定員 (名)	入校 日数 (日)	入寮 日数 (日)	教育 総時間 (時間)	eラー ニング 受講 科目数	入校関係手続日程			eラーニング期間
								書類 締切日 (※1)	許可通知 予定日 (※2)	入寮受付日 (※3)	
学  											

備考：各学科の定員の5%を女性消防吏員の優先枠として決定し、女性の入校を推進している。

- ※1 「書類締切日」は、都道府県から消防大学校に対する入校推薦・書類提出の締切日であり、当該日必着のこと。
- ※2 「許可通知予定日」は、消防大学校から都道府県に対する入校許可の旨の通知予定日であるが、追加提出された関係書類の手続きにより遅れることがあること。
- ※3 「入寮受付日」は、消防大学校への入寮期間の初日であるため留意すること。なお、入寮期間以外の入寮は認めない。



区分		学科等の 名称	期・ 回数	入 校 期 間 (教 育 期 間)		
				うちリモート授業期間 (消防大学校への入寮無し)	うち消防大学校への 入寮期間	
学 科	総合教育	幹部科	85	R8. 6. 8(月) ～ R8. 7. 23(木)	R8. 6. 8(月) ～ R8. 6. 12(金)	R8. 6. 15(月) ～ R8. 7. 23(木)
			86	R8. 8. 17(月) ～ R8. 10. 5(月)	R8. 8. 17(月) ～ R8. 8. 21(金)	R8. 8. 24(月) ～ R8. 10. 5(月)
			87	R8. 10. 9(金) ～ R8. 11. 27(金)	R8. 10. 9(金) ～ R8. 10. 16(金)	R8. 10. 19(月) ～ R8. 11. 27(金)
			88	R9. 1. 18(月) ～ R9. 3. 5(金)	R9. 1. 18(月) ～ R9. 1. 22(金)	R9. 1. 25(月) ～ R9. 3. 5(金)
		上級幹部科	90	R9. 1. 19(火) ～ R9. 2. 4(木)	—	R9. 1. 19(火) ～ R9. 2. 4(木)
		新任消防長・ 学校長科	36	R8. 5. 11(月) ～ R8. 5. 21(木)	—	R8. 5. 11(月) ～ R8. 5. 21(木)
		消防団長科	89	R8. 9. 14(月) ～ R8. 9. 18(金)	—	R8. 9. 14(月) ～ R8. 9. 18(金)
			90	R8. 10. 26(月) ～ R8. 10. 30(金)	—	R8. 10. 26(月) ～ R8. 10. 30(金)
	専科教育	警防科	118	R8. 6. 11(木) ～ R8. 7. 30(木)	R8. 6. 11(木) ～ R8. 6. 12(金)	R8. 6. 15(月) ～ R8. 7. 30(木)
			119	R8. 10. 22(木) ～ R8. 12. 11(金)	R8. 10. 22(木) ～ R8. 10. 23(金)	R8. 10. 26(月) ～ R8. 12. 11(金)
		救助科	92	R8. 4. 15(水) ～ R8. 6. 8(月)	R8. 4. 15(水) ～ R8. 4. 17(金)	R8. 4. 20(月) ～ R8. 6. 8(月)
			93	R8. 8. 26(水) ～ R8. 10. 19(月)	R8. 8. 26(水) ～ R8. 8. 28(金)	R8. 8. 31(月) ～ R8. 10. 19(月)
		救急科	88	R8. 8. 27(木) ～ R8. 10. 8(木)	R8. 8. 27(木) ～ R8. 8. 28(金)	R8. 8. 31(月) ～ R8. 10. 8(木)
		予防科	120	R8. 5. 27(水) ～ R8. 7. 14(火)	R8. 5. 27(水) ～ R8. 5. 29(金)	R8. 6. 1(月) ～ R8. 7. 14(火)
			121	R9. 1. 6(水) ～ R9. 2. 26(金)	R9. 1. 6(水) ～ R9. 1. 8(金)	R9. 1. 12(火) ～ R9. 2. 26(金)
		危険物科	21	R8. 11. 5(木) ～ R8. 12. 7(月)	R8. 11. 5(木) ～ R8. 11. 6(金)	R8. 11. 9(月) ～ R8. 12. 7(月)
		火災調査科	50	R8. 5. 28(木) ～ R8. 7. 15(水)	R8. 5. 28(木) ～ R8. 5. 29(金)	R8. 6. 1(月) ～ R8. 7. 15(水)
			51	R8. 10. 15(木) ～ R8. 12. 4(金)	R8. 10. 15(木) ～ R8. 10. 16(金)	R8. 10. 19(月) ～ R8. 12. 4(金)
		新任教官科	20	R9. 3. 1(月) ～ R9. 3. 11(木)	—	R9. 3. 1(月) ～ R9. 3. 11(木)
		現任教官科	10	R9. 3. 1(月) ～ R9. 3. 12(金)	—	R9. 3. 1(月) ～ R9. 3. 12(金)



## ② 実務講習

区分		学科等の 名称	期・ 回数	定員 (名)	入校 日数 (日)	入寮 日数 (日)	教育 総時間 (時間)	eラー ニング 受講 科目数	入校関係手続日程			eラーニング期間
									書類 締切日 (※1)	許可通知 予定日 (※2)	入寮受付日 (※3)	
実 務 講 習	緊急 消 防 援 助 隊 教 育 科	指揮隊長 コース	31	84	15	11	74	—	R8. 4. 2(木)	書類締切日 から2週間以内	R8. 5. 11(月)	—
		高度救助・特 別高度救助 コース	16	48	17	17	81	—	R8. 11. 9(月)	R8. 12. 22(火)	R9. 2. 3(水)	—
		NBCコース	16	48	22	17	102	8	R8. 9. 7(月)	R8. 10. 8(木)	R9. 1. 12(火)	R8. 11. 9(月) ～ R8. 12. 23(水)
		航空隊長 コース	26	60	14	10	67	—	R8. 10. 5(月)	R8. 11. 4(水)	R8. 12. 7(月)	—
	危機管理・防 災 教 育 科	危機管理・国 民保護コース	16	48	8	8	39	—	R8. 3. 23(月)	書類締切日 から2週間以内	R8. 4. 20(月)	—
		自主防災 組織育成 短期コース	27	64	2	—	10	—	別途通知			—
			28	64	2	—	10	—	別途通知			—
			29	64	2	—	10	—	別途通知			—
		消防団活性化 推進コース (行政職員)	19	30	7	7	32	—	R8. 7. 6(月)	R8. 8. 4(火)	R8. 9. 2(水)	—
	そ の 他	女性活躍 推進コース	11	48	9	5	46	9	R8. 8. 18(火)	R8. 9. 15(火)	R8. 12. 14(月)	R8. 10. 19(月) ～ R8. 12. 2(水)
査察業務 マネジメント コース		10	48	7	7	32	—	R8. 6. 5(金)	R8. 6. 29(月)	R8. 7. 22(水)	—	

備考：各学科の定員の5%を女性消防吏員の優先枠として決定し、女性の入校を推進している。

- ※1 「書類締切日」は、都道府県から消防大学校に対する入校推薦・書類提出の締切日であり、当該日必着のこと。
- ※2 「許可通知予定日」は、消防大学校から都道府県に対する受講許可の旨の通知予定日であるが、追加提出された関係書類の手続きにより遅れることがあること。
- ※3 「入寮受付日」は、消防大学校への入寮期間の初日であるため留意すること。なお、入寮期間以外の入寮は認めない。





区分	学科等の名称	期・回数	入 校 期 間 (教 育 期 間)		
				うちリモート授業期間 (消防大学校への入寮無し)	うち消防大学校への 入寮期間
実務講習	緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	31	R8. 5. 7(木) ～ R8. 5. 21(木)	R8. 5. 7(木) ～ R8. 5. 8(金)	R8. 5. 11(月) ～ R8. 5. 21(木)
	高度救助・特別高度救助コース	16	R9. 2. 3(水) ～ R9. 2. 19(金)	—	R9. 2. 3(水) ～ R9. 2. 19(金)
	NBCコース	16	R9. 1. 7(木) ～ R9. 1. 28(木)	R9. 1. 7(木) ～ R9. 1. 8(金)	R9. 1. 12(火) ～ R9. 1. 28(木)
	航空隊長コース	26	R8. 12. 3(木) ～ R8. 12. 16(水)	R8. 12. 3(木) ～ R8. 12. 4(金)	R8. 12. 7(月) ～ R8. 12. 16(水)
	危機管理・国民保護コース	16	R8. 4. 20(月) ～ R8. 4. 27(月)	—	R8. 4. 20(月) ～ R8. 4. 27(月)
	危機管理・防災教育科 自主防災組織育成短期コース	27	別途通知 (令和8年10月から12月までの間に毎月1回、開講予定)	—	—
		28		—	—
		29		—	—
	消防団活性化推進コース (行政職員)	19	R8. 9. 2(水) ～ R8. 9. 8(火)	—	R8. 9. 2(水) ～ R8. 9. 8(火)
	その他 女性活躍推進コース	11	R8. 12. 10(木) ～ R8. 12. 18(金)	R8. 12. 10(木) ～ R8. 12. 11(金)	R8. 12. 14(月) ～ R8. 12. 18(金)
	査察業務マネジメントコース	10	R8. 7. 22(水) ～ R8. 7. 28(火)	—	R8. 7. 22(水) ～ R8. 7. 28(火)

## 2 入校・受講資格

令和 8 年度における消防大学校の教育訓練の入校・受講に必要な要件(以下「入校・受講資格」という。)は原則次のとおりとする。ただし、校長が特別の事情があると認めるときは、(1)①及び③を除き、入校・受講資格に該当しない者の入校・受講を認めることができる。

### (1) 共通事項

- ① 入校・受講資格の有無の判断基準日は、以下のとおり。
  - ア 年 齢：令和 8 年 4 月 1 日現在とする。なお、年齢超過については、上記の「特別の事情」としては認めないので留意すること。
  - イ 年齢以外：入校期間(教育期間)の初日とする。
- ② 入校・受講資格の要件を満たす者は、従来どおり男女の性別に隔たりなく入校・受講できること。
- ③ 入校・受講しようとする学科・実務講習の全課程を修了し得る学力及び体力<sup>(※)</sup>を有すること。任命権者は、推薦者が入寮及び修学に耐えうる健康状態であるか、健康診断書等(所属機関の定期健康診断や人間ドックの結果表等)により確認すること(消防大学校への個人の健康診断書等の提出は不要)。  
※ 学科(消防団長科を除く)並びに実務講習のうち緊急消防援助隊教育科及び女性活躍推進コースについては実科訓練を実施するため特に健康状態に留意すること。
- ④ 消防本部区分関係  
幹部科、上級幹部科又は専科教育への推薦者は、消防学校又は消防大学校における研修経歴(学科は問わない。)を有していること。
- ⑤ 消防学校区分関係
  - ア 消防本部等から消防学校への教職員派遣予定者や消防学校着任 1 年目の者など、消防大学校卒業後に消防学校での教育に十分反映できる者を優先すること。
  - イ 消防学校教官として派遣されている者を派遣期間の最終年度に入校推薦する場合は、消防大学校での教育訓練課程修了後、当該消防学校に 6 か月以上の在任期間を有していること。
  - ウ 派遣期間中の消防大学校への入校は、現任教官科、自主防災組織育成短期コース、消防団活性化推進コース及び女性活躍推進コースを除き、1 回のみとすること。



## (2) 学科・実務講習ごとの入校・受講資格

次に掲げる各表の入校・受講資格に該当すること。

## ① 学 科

## 【総 合 教 育】

	＜消防本部＞	＜消防学校＞
幹 部 科	<p>【 上限年齢：50歳 】</p> <p>1 次のいずれかに該当する者            (1) 消防司令の階級の者又は令和8年度に消防司令の階級となる予定の者            (2) 消防吏員の数が300人未満又は人口30万人未満の消防本部において、5年以上消防司令補の階級にある者</p> <p>【 年齢限定：51～52歳 】</p> <p>2 消防吏員数が300人未満又は人口30万人未満の消防本部において、消防司令の階級の者又は令和8年度に消防司令の階級となる予定の者</p>	<p>消防学校(都道府県が設置したもの及び政令指定都市が設置したものを指す。以下同じ。)において教育訓練に従事している者又はその予定者(※1)で、次の両方に該当する者。            (都道府県職員であって、消防吏員でない者については、下記1に該当する者)</p> <p>1 令和8年度又は令和9年度において消防学校の幹部課程を担当する者            2 左記消防本部区分における1の要件を満たしている者</p> <p>※1 消防学校へ教員として派遣される予定の者を含む。以下同じ。            ※2 左記消防本部区分における1の要件を満たさない者は、新任教官科又は現任教官科への入校が望ましいこと</p>
上 級 幹 部 科	<p>【 上限年齢：消防長 58歳 】</p> <p>1 消防長(消防次長相当職を含む)</p> <p>【 上限年齢：その他 55歳 】</p> <p>2 消防署長又はこれと同等以上の職にある者(消防本部の課長職以上の職にある者を含み、消防署の副署長を含まない)</p> <p>※ 消防次長相当職を設置していない場合は、これと同等の職とする。</p>	<p>次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防学校の学校長又は副校長            2 都道府県消防学校において教育訓練に従事している者又はその予定者で、課長補佐又はこれと同等以上の職にある者</p>
・新 学 校 長 防 長 科	<p>従前消防吏員でなかったが、新たに消防長となった者</p> <p>※ 新任消防長のうち、消防吏員として消防事務に従事した経験がなく、新たに消防長に就任した者を対象とした研修であること(「新任消防長の教育訓練の見直しについて」(平成22年9月10日付け消防消第222号消防庁消防・救急課長通知)等参照)</p>	<p>従前消防吏員でなかったが、新たに消防学校長となった者</p>

	＜消 防 団＞
団 長 防 科	<p>1 消防団長又は副団長の階級にある者            2 将来的に副団長以上の階級が見込まれている分団長である者</p> <p>※ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成25年12月13日法律第110号)が公布・施行され、消防団に対する期待が高まっていることから、入校実績がない若しくは少ない消防団を有する市町村等においては、積極的な入校の検討が望ましいこと</p>



## 【専 科 教 育】

	＜消防本部＞		＜消防学校＞
警 防 科	<b>【 上限年齢： 45 歳 】</b> 次のいずれかに該当する者 1 消防司令補以上の階級にあり、かつ、警防業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者 (1) 消防学校において警防専科教育を受講した者 (2) 警防業務の実務経験が 3 年以上の者 2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、3 年以上消防士長の階級にあり、かつ、警防業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者 (1) 消防学校において警防専科教育を受講した者 (2) 警防業務の実務経験が 3 年以上の者		消防学校において警防業務に関する教科を担当している者又はその予定者
救 助 科	<b>【 上限年齢： 45 歳 】</b> 次のいずれかに該当する者 1 消防士長以上の階級にあり、かつ、救助業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者 (1) 消防学校において救助専科教育を受講した者 (2) 救助業務の実務経験が 3 年以上の者 2 救助隊長の職にある者 ※ 実践的な訓練を含めた幹部としての教育カリキュラムを編成しているため、消防学校救助科を修了している者が望ましいこと。		消防学校において救助業務に関する教科を担当している者又はその予定者
救 急 科	<b>【 上限年齢： 45 歳 】</b> 救急救命士の資格を有し、次のいずれかに該当する者 1 消防司令補以上の階級にあり、次のいずれかに該当する者 (1) 救急隊長の職にある者 (2) 消防本部において、救急業務の指導・監督的立場にある者 2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、3 年以上消防士長の階級にあり、次のいずれかに該当する者 (1) 救急隊長の職にある者 (2) 消防本部において、救急業務の指導・監督的立場にある者 ※ 経過措置として令和 7 年度から令和 11 年度の 5 年間は、各所属における消防大学校への入校計画等を考慮し、必要と認める場合は 50 歳までの者の入校を許可する。		救急救命士の資格を有し、消防学校において救急業務に関する教科を担当している者又はその予定者
予 防 科	<b>【 上限年齢： 45 歳 】</b> 次のいずれかに該当する者 1 消防司令補以上の階級にあり、かつ、予防業務(危険物保安業務を除く。以下同じ。)に従事している者で、次のいずれかに該当する者 (1) 消防学校において予防査察専科教育を受講した者 (2) 予防業務の実務経験が 3 年以上の者 2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、3 年以上消防士長の階級にあり、かつ、予防業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者 (1) 消防学校において予防査察専科教育を受講した者 (2) 予防業務の実務経験が 3 年以上の者 ※ 予防業務の実務に関する知識が備わっていることを前提に教育カリキュラムを編成しているため、予防技術資格者や予防業務に精通する者などが望ましいこと		消防学校において予防業務に関する教科を担当している者又はその予定者
危 険 物 科	<b>【 上限年齢： 45 歳 】</b> 消防士長以上の階級にあり、かつ、危険物保安業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者 1 学校教育法による大学若しくは高等専門学校において化学に関する学科若しくは課程を修めて卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者 2 消防学校において危険物専科教育を受講した者 3 危険物保安業務の実務経験が 3 年以上の者		消防学校において危険物保安業務に関する教科を担当している者又はその予定者
火 災 調 査 科	<b>【 上限年齢： 45 歳 】</b> 消防士長以上の階級にあり、かつ、火災調査業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者 1 消防学校において火災調査専科教育を受講した者 2 火災調査業務の実務経験が 3 年以上、かつ、火災原因判定書(延焼火災)の作成実績が 5 件以上の者		消防学校において火災調査業務に関する教科を担当している者又はその予定者

	＜消防学校＞	
科 教 新 官 任	消防学校において教育訓練に従事する者(令和 9 年 4 月 1 日以降に着任が予定されている者に限る)	
科 教 現 官 任	消防学校において教育訓練に従事している者(令和 9 年 10 月 1 日以降まで在任が予定されている者に限る)で、業務運営、初級幹部科、中級幹部科、上級幹部科、予防業務又は警防業務に関する教科等を担当している者	



## ② 実務講習

## 【緊急消防援助隊教育科】

	＜消防本部＞	＜消防学校＞
指揮隊長コース	次のいずれかに該当する者 1 緊急消防援助隊の指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県大隊長又は都道府県大隊指揮隊長である者 2 上記の交代要員として指定される者  ※ 全国の緊急消防援助隊の連携強化を図る観点及び全国統一的な運用の観点から、対象者が早期に受講できることが望ましいこと	
高度救助・特別高度救助コース	特別救助隊、高度救助隊及び特別高度救助隊(救助隊は含まない)の隊長若しくは指導・監督的な立場である者又はそれらの予定者  ※救助隊の隊長等は、救助科への入校が望ましいこと。	
NBC コース	防護服その他の NBC 災害対応資機材を装備する隊の隊長若しくは隊員である者又はそれらの予定者	消防学校におけるNBC 災害に関する課程を担当し、専管的に授業にあたる者又はその予定者

	＜都道府県・政令指定都市航空隊＞
航空隊長コース	次のいずれかに該当する者 1 消防防災航空隊の隊長、副隊長又はパイロットである者 2 消防司令補以上の階級にある者又は指導・監督的な立場にある者

## 【危機管理・防災教育科】

	＜一般行政＞	＜消防本部＞	＜消防学校＞
危機管理・国民保護コース	都道府県及び市町村の危機管理、防災又は国民保護業務を担当する課長又は課長補佐(これらと同等の職にある者を含む)	市町村の危機管理、防災又は国民保護業務を担当する消防本部の課長又は課長補佐の者(これらと同等の職にある者を含む)	防災拠点の役割を有する消防学校の危機管理、防災又は国民保護業務を担当する副校長又は課長(これらと同等の職にある者を含む)
自主防災組織育成短期コース	自主防災組織の指導、育成等の業務を担当する都道府県又は市町村(指定都市及び特別区を含む。)の職員  ※ 業務に必要な基礎的知識及び能力の修得を目的としているため、担当としての経験年数が通算して2年以下の者を対象とすること	自主防災組織の指導、育成等の業務を担当する消防本部の職員	自主防災組織の指導、育成等の役割を有する消防学校の職員(予定者を含む。)

	＜一般行政＞	＜消防本部＞	＜消防学校＞	＜消防団＞
消防団活性化推進コース(行政職員)	消防団の加入促進や教育訓練等充実強化業務に携わる都道府県又は市町村の担当職員	市町村の消防団の加入促進や教育訓練等充実強化業務に携わる消防本部の担当職員	消防団の教育訓練に携わる担当職員又はその予定者	

## 【その他】

	＜消防本部＞ ＜消防学校＞
女性活躍推進コース	【 上限年齢： 45 歳 】 次のいずれかに該当する者 1 消防司令補又は消防士長の階級にある女性消防吏員 2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、10 年以上の職務経験を有する女性消防吏員  ※ 46 歳以上の女性消防吏員は、幹部科、上級幹部科への入校が望ましいこと

	＜消防本部＞
査察業務マネジメントコース	消防本部の予防業務を所管する課室で、違反処理をはじめとする査察業務全般を主管する係長以上の職にある者  ※ 査察業務全般をマネジメントするために必要とされる高度な知識及び能力の修得を目的とすることから、現在各消防本部において指導的役割を担っている予防業務担当者の積極的な受講の検討が望ましいこと

### 3 入校・受講手続

#### (1) 学科の入校手続

##### ① 都道府県による入校推薦

- ア 都道府県は、消防大学校長に対して入校推薦を行うに当たり、次の点を確認すること。
- (ア) 都道府県内の推薦者の数が、消防大学が当該都道府県に通知した当該学科の当該期の入校受入れ数以下であること。(推薦者数が入校受入れ数を下回ることが判明したときは、すみやかに消防大学に連絡すること。)
  - (イ) 推薦者は、当該推薦者の任命権者の推薦に基づいていること。
  - (ウ) 推薦者が当該学科の入校資格を満たしていることについて、任命権者の確認を受けていること。

イ 都道府県は、消防大学校長に対し、各学科の各期の書類締切日までに下記(3)に掲げる書類を提出すること。

##### ② 消防大学による入校審査及び入校許可の通知

消防大学校長は、入校推薦者の資格審査を行い、資格要件を満たす場合はこれを許可し、都道府県に対して入校許可の通知を行う。

##### ③ 入校許可後の手続

ア 入校許可者の所属消防本部等は、「4 入校経費」に掲げる入校経費を、振込締切日までに所定の方法で納入すること。

イ 入校許可者は、入校前に消防大学から送付する関係資料を確認し、必要な準備を行うこと。

ウ e ラーニングの対象である学科(1(1)①表参照)の入校許可者は、1(2)①表中に示す「e ラーニング期間」中に指定された科目を学習し、確実に修了すること。

#### (2) 実務講習の受講手続（自主防災組織育成短期コースは別途通知によること）

##### ① 都道府県による受講申請

- ア 都道府県は、消防大学校長に対して受講申請を行うに当たり、次の点を確認すること。
- (ア) 都道府県内の申請者の数が、消防大学が当該都道府県に通知した当該実務講習の当該回の受講受入れ数以下であること。(申請者数が受講受入れ数を下回ることが判明したときは、すみやかに消防大学に連絡すること。)
  - (イ) 申請者は、当該申請者の任命権者の推薦に基づいていること。
  - (ウ) 申請者が当該実務講習の受講資格を満たしていることについて、任命権者の確認を受けていること。

イ 都道府県は、消防大学校長に対し、各実務講習の各回の書類締切日までに(3)に掲げる書類を提出すること。

##### ② 消防大学による受講審査及び受講許可の通知

消防大学校長は、申請者の資格審査を行い、資格要件を満たす場合はこれを許可し、都道府県に対して受講許可の通知を行う。

##### ③ 受講許可後の手続

ア 受講許可者の所属消防本部等は、「4 入校経費」に掲げる入校経費を、振込締切日までに所定の方法で納入すること。

イ 受講許可者は、受講前に消防大学から送付する関係資料を確認し、必要な準備を行うこと。



ウ e ラーニングの対象である実務講習(1(1)②表参照)の受講許可者は、1(2)②表中に示す「e ラーニング期間」中に指定された科目を学習し、確実に修了すること。

### (3) 提出書類

#### ① 学科

ア 消防団長科以外の学科：【様式 1】学科申告書(消防団長科を除く)

イ 消防団長科：【様式 2】学科申告書(消防団長科)

※ 1 消防学校区分での推薦者については、次のいずれかの書類を添付すること

ア) 当該者に係る消防学校教育訓練計画若しくは入校希望課程に関する計画

イ) 事務分掌が分かる資料

※ 2 消防学校への派遣者については、消防学校への派遣期間(予定を含む)を記入すること(後述の「記入例」を参照)

※ 3 必要に応じ、関係書類の提出を求める場合があること。(後述の「記入例」を参照)

#### ② 実務講習

ア 実務講習(自主防災組織育成短期コースを除く)：【様式 3】実務講習申告書

イ 自主防災組織育成短期コース：別途通知

※ 1 消防学校区分での推薦者については、次のいずれかの書類を添付すること

ア) 当該者に係る消防学校教育訓練計画若しくは入校・受講希望課程に関する計画

イ) 事務分掌が分かる資料

※ 2 危機管理・国民保護コース及び消防団活性化推進コース(行政職員)は、申請者の所属が各コースに係る業務を担当する根拠(組織関係規則の抜粋等)及び申請者本人が各コースに係る業務を担当する根拠(事務分掌の抜粋等)を様式に記入若しくは書類を添付すること。

※ 3 消防学校への派遣者については、消防学校への派遣期間(予定を含む)を記入すること(後述の「記入例」を参照)

※ 4 必要に応じ、関係書類の提出を求める場合があること。(後述の「記入例」を参照)

### (4) 提出先

#### ○ 提出(公印省略)先

消防大学校教務部 共有アドレス：[fdmc-k@soumu.go.jp](mailto:fdmc-k@soumu.go.jp)

※ 1 電子データ(Excel)により提出すること。

※ 2 (1)①イ及び(2)①イにより、都道府県から提出すること。

(5) 各種様式  
【令和8年度】

様式 1

学科申告書(消防団長科を除く)

(表)

入校 学科	<<選択>>		科 第	期	都道府県	<<選択>>	資格 区分	<<選択>>		
	(入校日)	西暦8桁入力								
入校 推薦者	(ふりがな)	氏	名		(写真)  上半身, 脱帽, 制服着用  ※3ヶ月以内に撮影したもの					
	氏名									
	生年月日	西暦8桁入力							和暦自動表示	
	年 齢		歳	R8.4.1 現在					性別	<<選択>>
	(ふりがな)	(〒		ー					)	
	自宅 住所									
	連絡先	電話番号 :							<<選択>>	
最終 学歴	E-mailアドレス : (携帯アドレス不可)							FALSE		
所属 機関	※入校日における所属及び連絡先を記入									
	(ふりがな)									
	所属 機関名	<<選択>>								
	(ふりがな)	(〒								
	所属 住所									
	連絡先	TEL :			FAX :					
	※入校日と申告書提出時の所属		<<選択>>							
	申告書提出時の 所属機関名									
	申告書提出時の 所属住所	(〒								
	TEL :			FAX :						
抱負・ 目標	入寮期間中の 緊急連絡先 (人事・研修担当を想定)									
	所属・役職 :									
	TEL :			e-mail :				FALSE		
任命権者 職氏名 (申告書提出時)				任命権者 確認日	令和	年	月	日		
			(公印省略可)							

## 学科申告書(消防団長科を除く)

(裏)

所属		<<選択>>				氏名		
役職等	直前	令和		年	月～	(所属及び部局名)	[職名]	[階級]
	現在	平成		年	月～	(所属及び部局名)	[職名]	[階級]
	予定 (※)	昭和		年	月～	(所属及び部局名)	[職名]	[階級]
	※申告書提出時と入校時の所属が異なる場合、又は入校資格が「予定者」に該当する場合は、予定欄も入力すること ※消防学校職員や行政職員等、階級がない場合は、「階級」欄は「一」を入力すること							
災害活動上		令和		年	月～			
緊急消防援助隊 登録部隊名								
職歴 概要								
		実務経験年数 (実務経験を要件として いる場合は要入力)		○主たる業務であった期間			年	月
				△従たる業務であった期間			年	月
消防学校 及び 消防大学校 研修履歴								
入校資格 の要件								
資格等								
被服等 サイズ		長袖Ｔシャツ (サイズ：S・M・L・LL・3L)		<<選択>>		✓一律調査のため、貸与・配布しない場合があります。		
		ケブラー手袋 (サイズ：S・M・L・LL)		<<選択>>		✓男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にしてください。		
備考								

※消防学校において、派遣期間中の消防大学校への入校は、現任教官科、自主防災組織育成短期コース、消防団活性化推進コース及び女性活躍推進コースを除き、1回のみとすること。

【令和8年度】

様式1

## 【記入例】 学科申告書（消防団長科を除く）

入校 学科		(入校日) 西暦8桁入力		科 第	期	都道府県	県	資格 区分	(表)	
(ふりがな) 氏		しょうぼう		氏	たろう		ブルダウンから 該当する都道府県を選択			
年齢は自動計算のため、 生年月日の入力誤りに留意		消防		太郎		ブルダウンから 該当する区分を選択 (写真)				
入校 推薦者	生年月日	西暦8桁入力		年齢	R8.4.1 現在	性別	男	和暦自動表示		○画像データを貼付けること ○着帽のまま撮影しないよう留意 ○一般行政職員など、制服が無い 場合はスーツ着用
	年 齢	歳		R8.4.1 現在						
	(〒 182 - 8508 )									
	(ふりがな) とうきょうと ちようふし じんたいじひがしまち									
	自宅 住所	東京都調布市深大寺東町4-35-3								※3ヶ月以内に撮影したもの
連絡先	電話番号 :	090-1234-5678		<<選択>>						
最終 学歴	E-mailアドレス :	(携帯アドレス不可)		shobodaigaku_soumu@soumu.go.jp		TRUE				
※入校日における所属及び連絡先を記入										
所属 機関	(ふりがな) けんしょうぼうがっこう									○上記都道府県を選択 ○該当の所属名をブルダウン選択 ○該当のない場合は直接入力
	所属 機関名	県消防学校								
	(〒 100 - 8926 )									
	(ふりがな) とうきょうと ちよだく かすみ がせき									
	所属 住所	東京都千代田区霞が関2-1-2								
連絡先	TEL :	03-1234-1234		ハイフンを入れて 半角入力		03-4321-4321				
※入校日と申告書提出時の所属 異なる(以下に申告書提出時の所属等を入力)										
抱負・ 目標	申告書提出時の 所属機関名	消防大学消防本部								○入校日と申告書提出時の所属等が 異なる場合は、入校日(上段の欄)及び 現所属(本欄)を記入すること 例) R8.2の申告書提出時に消防本部職員が、R8.4 に消防学校に異動予定で、R8.6に入校する者は、 申告書提出時と入校日の所属が異なるため両方 の連絡先を記載
	(〒 100 - 1100 )									
	申告書提出時の 所属住所	東京都千代田区 1-2-1								
	TEL :	03-1234-1234								
	入寮期間中の 緊急連絡先 (人事・研修担当を想定)	所属・役職 :	消防大学消防本部							
	TEL :	03-1234-9999		e-mail :		abcdefg@syoubou.lg.jp		TRUE		
○各課程の概要を踏まえた上で、次の点を具体的かつ詳細に記入すること ・入校を希望する学科の内容を、現在又は今後就任予定の職務にどのように役立てたいか ・重点的に取り組みたいことは何か										
人事異動の可能性を 考慮し、所属共有の アドレスが望ましい										
「申告書提出時点」における任命 権者の職氏名及び確認日を入力										
任命権者 職氏名 (申告書提出時)	消防大学消防本部長									
(公印省略可)										
任命権者 確認日	令和	年	月	日						



様式 1

## 【記入例】学科申告書(消防団長科を除く)

所属		●●県消防学校				○資格要件の「予定者」に該当する者及び「入校日」時点で資格要件を満たす者は、異動予定年月及び役職等を必ず記入すること ○あわせて「入校資格の要件」欄にもその旨記載すること ○具体的な就任予定時期が未定の場合は、資格要件の「予定者」には該当しない					
役職等	直前	令和	×	年	●	月	～	(所属)	本部●●課●●係	主任	消防士長
	現在	令和	×	年	●	月	～	(所属及び部局名)	本部●●課●●係	係長	消防司令補
	予定(※)	令和	×	年	●	月	～	(所属及び部局名)	●●県消防学校	助教授	—
	※申告書提出時と入校時の所属が異なる場合、又は入校資格が「予定者」に該当する場合は、予定欄も入力すること ※消防学校職員や行政職員等、階級がない場合は、「階級」欄は「—」を入力すること										
災害活動上		令和	●	年	●	月	～	(例) 消防署指揮隊長	消防本部枠等の場合は必要に応じ入力		
緊急消防援助隊登録部隊名		(例) 指揮隊、隊長							消防本部枠等の場合は必要に応じ入力		
職歴概要		(例：警防科の場合) 平成×年4月消防吏員採用、○平成×年10月●●消防署消防小隊隊員、 ○平成×年4月本部警防課係員、○平成×年4月同課主任、平成×年4月●●消防署主任、 △平成×年4月●●消防署係長、○令和×年4月本部警防課係長、 ○令和×年4月本部警防課係長(現職) ○業務年数、実績等は資格審査の基準であるため、採用時から現在の職まで正確に記入すること ○専科教育(新任教官科及び現任教官科を除く)の者は、資格要件の実務経験年数の確認のため、必ず年月の前に以下の記号を付すこと ⇒ ○：主たる業務であった期間、△：従たる業務であった期間 (主たる業務及び従たる業務でない場合は記号不要)									
実務経験年数		(実務経験を要件としている場合は要入力) ○主たる業務であった期間 11年 9月 △従たる業務であった期間 4年 3月 ○「入校日」時点における経験年数の合計を入力									
消防学校及び消防大学校研修履歴		・平成×年4月～10月 総務県消防学校初任科修了 ・平成×年1月 消防大学校自主防災組織短期育成コース修了 ・令和×年8月～10月 総務県消防学校警防科修了 ○入校資格要件が「消防学校における専科教育の受講」の場合は、当該専科教育の経歴に下線を付すこと ○過去の研修経歴(課程等は問わない)を正確に記入									
入校資格の要件		【消防本部区分】 ○以下の場合、入校資格の要件を記入すること(関係書類の添付でも可) ①幹部科・警防科・救急科・予防科のうち、「消防吏員数」及び「人口」を含めた入校資格該当者 ⇒ 所属消防本部の消防吏員数及び管内人口 ②幹部科のうち、令和8年度に消防司令の階級となる予定の者 ⇒ 昇任予定年月 ③救急科 ⇒ 救急救命士の資格取得年月日 ④火災調査科 ⇒ 火災原因判定書の作成件数 ⑤「入校日」時点で資格要件を満たす者 ⇒ 資格を満たす日及び資格要件の内容 (①の例) 消防吏員数●人、管内人口●人 (②の例) 令和×年●月 消防司令(予定) (③の例) 救急救命士(平成●年●月●日取得) (④の例) 火災原因判定書●件 (⑤の例) 令和×年●月△△の実務経験3年経過 【消防学校区分】 ①新任教官科 ⇒ 令和9年4月1日以降の着任予定日及び派遣予定期間(予定を含む) ②専科教育 ⇒ 各科(教科)を担当・又は担当予定である旨(関係書類の添付でも可)及び派遣予定期間 (①の例) 令和×年●月●日付 ●●県消防学校派遣予定(派遣期間●年●月～●年●月) (②の例1) 令和×年●月●日～●月●日●●科：正担当 ※教育訓練計画(又は事務分担表等)を入力又は資料添付のこと (②の例2) 令和×年●月～●年●月 ●●県消防学校派遣(●●科担当予定) 【資格要件の職と同等以上の職にある者】※上級幹部科のみ ○同等以上の職である旨を入力し、関係書類を添付すること (例) 当本部においては、●●の職は●●(内部規定・階級等の理由)により●●長と同等の職である ※●●内規は添付参照									
資格等		●●●● ●級、●●検定 等							○入校希望の学科に係る業務に関連する資格や、大会出場経験があれば簡潔に記入すること(審査への影響は無い)		
被服等サイズ		長袖Tシャツ (サイズ：S・M・L・LL・3L) L ケブラー手袋 (サイズ：S・M・L・LL) M							✓一律調査のため、貸与・配布しない場合があります。 ✓男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にしてください。 フルダウンから選択		
備考		消防本部移転のため、●月●日から所在地が変更 新住所：〒..... TEL：変更無し 申告したい事項があれば入力すること									

【令和 8 年度】

様式 2

## 学科申告書(消防団長科)

入校 学科	消防団長		科 第	期	都道府県	<<選択>>		
	(入校日)	西暦 8 桁入力						
入校推薦者	(ふりがな)	氏			名			
	氏名						(写真) 上半身, 脱帽, 制服着用  ※3ヶ月以内に撮影したもの	
	生年月日		西暦 8 桁入力			和暦自動表示		
	年 齢	歳	R8. 4. 1 現在	性別	<<選択>>			
	(ふりがな)	(〒	—	)				
	自宅住所							
	連絡先	電話番号 :				<<選択>>		
	E-mail アドレス : (携帯アドレス不可)					FALSE		
職業								
所属消防団	(ふりがな)							
	名称							
	(ふりがな)	(〒	—	)				
	所属住所							
	連絡先	TEL :			FAX :			
入寮期間中の 緊急連絡先 (自治体や消防本部の 団事務担当者を想定)	所属・役職 :							
	TEL :			e-mail :			FALSE	
経験等	階級	<<選択>>						
	主な消防団歴							
	消防学校研修経歴							
特記事項	被服等 サイズ	長袖 T シャツ (サイズ : S・M・L・LL・3L )	<<選択>>	✓ 一律調査のため、貸与・配布しない場合があります。 ✓ 男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にして ください。				
		ケブラー手袋 (サイズ : S・M・L・LL )	<<選択>>					
	備考							
任命権者 職氏名 (申告書提出時)				任命権者 確認日	令和	年	月	日
		(公印省略可)						



【令和8年度】

様式2

## 【記入例】学科申告書(消防団長科)

入校 学科	消防団長		科 第	● ●	期	都道府県	● ● 県
	(入校日)	西暦8桁入力					
入校 推薦者	(ふりがな)	氏	しょうぼう	名	たろう	(写真)	
	年齢は自動計算のため、生年月日の入力誤りに留意		消防		太郎		上半身、脱帽、制服着用
	生年月日	西暦8桁入力			和暦自動表示		
	年 齢	● ● 歳	R8. 4. 1	現在	性別	男	○画像データを貼付けること ○着帽のまま撮影しないよう留意 ○一般行政職員など、制服が無い場合はスーツ着用
	(〒 182 - 8508 )						
	(ふりがな)	とうきょうと ちょうふし じんだいじむがしまち					
	自宅住所	東京都調布市深大寺東町4-35-3					
	連絡先	電話番号 :	03-1111-2222		<<選択>>		※3ヶ月以内に撮影したもの
		E-mailアドレス :	(携帯アドレス不可)		shobodaigaku_soumu@soumu.go.jp		TRUE
	職業	自営業					
所属 消防団	(ふりがな)	● ● ししょうぼうだん					
	名称	● ● ● 市消防団					
	※市区町村名から記入						
	(〒 100 - 8508 )						
	(ふりがな)	とうきょうと ちよだく かすみ がせき					
	所属住所	東京都千代田区霞が関2-1-2					
連絡先	TEL :	03-1234-1234		FAX :	03-1234-1234		
経験等	入寮期間中の緊急連絡先 (自治体や消防本部の団事務担当者を想定)	所属・役職 :	● ● ● 市 ● ● 課消防団係長		入寮期間中に傷病等が発生した際の緊急時の所属連絡先を記入すること		
		TEL :	03-1234-9999		e-mail :	abcdefg@syoubou.lg.jp	
	階級	<<選択>>					
	主な消防団歴	消防団歴を入力すること 平成××年2月入団、平成××年4月班長、平成××年4月部長、平成××年4月副分団長、平成××年4月分団長、令和××年4月副団長					
特記事項	消防学校研修経歴	平成××年10月(4日間) ○○県消防学校消防団警防科修了 令和××年10月(2日間) ○○県消防学校消防団中級幹部科修					
	被服等サイズ	長袖Tシャツ (サイズ:S・M・L・LL・3L)	L	✓一律調査のため、貸与・配布しない場合があります。 ✓男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にしてください。			
	備考	申告したい事項があれば入力すること					
任命権者 職氏名 (申告書提出時)	● ● ● 市消防団長				任命権者 確認日	令和	● 年 ● 月 ● 日
(公印省略可)							

【令和 8 年度】

様式 3

## 実務講習申告書

(表)

受講 コース	<<選択>>		コース 第	回	都道府県	<<選択>>	資格 区分	<<選択>>	
	(受講開始日)	西暦 8 桁入力							
入校推薦者	(ふりがな)	氏	名		(写真)  上半身, 脱帽, 制服着用  ※3ヶ月以内に撮影したもの				
	氏名								
	生年月日	西暦 8 桁入力		和暦自動表示					
	年 齢	歳	R8. 4. 1 現在	性別					<<選択>>
	(ふりがな)	(〒	ー	)					
	自宅 住所								
連絡先	電話番号 :		<<選択>>						
	E-mailアドレス :						FALSE		
所属機関	※入校日における所属及び連絡先を記入								
	(ふりがな)								
	所属 機関名	<<選択>>							
	(ふりがな)	(〒							
	住所	ー							
	連絡先	TEL :				FAX :			
	※入校日と申告書提出時の所属		<<選択>>						
	申告書提出時の 所属機関名								
	申告書提出時の 所属住所	(〒							
		ー							
入寮期間中の 緊急連絡先 (人事・研修担当を想定)		所属・役職 :							
TEL :				e-mail :		FALSE			
役職等	直前	<<選択>>	年	月	～	(所属及び部局名)	[職名]	[階級]	
	現在	<<選択>>	年	月	～	(所属及び部局名)	[職名]	[階級]	
	予定 (※)	<<選択>>	年	月	～	(所属及び部局名)	[職名]	[階級]	
	※申告書提出時と入校時の所属が異なる場合、又は入校資格が「予定者」に該当する場合は、予定欄も入力すること ※消防学校職員や行政職員等、階級がない場合は、「階級」欄は「ー」を入力すること								
災害活動上		<<選択>>	年	月	～				
緊急消防援助隊 登録部隊名									

## 実務講習申告書

(裏)

所属	<<選択>>		氏名	
受講資格 の要件				
特記事項 (装備品・根 拠規程等)				
被服等 サイズ	長袖Tシャツ (サイズ:S・M・L・LL・3L)	<<選択>>	✓一律調査のため、貸与・配布しない場合があります。 ✓男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にしてください。	
	ケブラー手袋 (サイズ:S・M・L・LL)	<<選択>>		
備考				

※消防学校において、派遣期間中の消防大学校への入校は、現任教官科、自主防災組織育成短期コース、消防団活性化推進コース及び女性活躍推進コースを除き、1回のみとすること。



【令和8年度】

様式3

## 【記入例】実務講習申告書

ブルダウンから該当する科を選択

ブルダウンから該当する都道府県を選択

ブルダウンから該当する区分を選択

西暦8桁、スラッシュなどなしで入力

年齢は自動計算のため、生年月日の入力誤りに留意

ブルダウンから選択

画像データを貼付けること  
着帽のまま撮影しないよう留意  
一般行政職員など、制服が無い場合はスーツ着用

消防大学校との連絡等に使用するメールアドレスを記入  
所属の共有アドレスも可  
携帯アドレスは不可

ハイフンを入れて半角入力

※入校日における所属及び連絡先を記入

所属機関名

所属住所

連絡先

※入校日と申告書提出時の所属

申告書提出時の所属機関名

申告書提出時の所属住所

TEL : FAX :

入寮期間中の緊急連絡先 (人事・研修担当を想定)

所属・役職 :

TEL : e-mail :

直前

平成

年

月

～

(所属及び部局名)

[職名]

[階級]

現在

令和

年

月

～

(所属及び部局名)

[職名]

[階級]

予定

令和

年

4

月

～

(所属及び部局名)

[職名]

[階級]

※申告書提出時と入校時の所属が異なる場合、又は入校資格が「予定者」に該当する場合は、予定欄も入力すること  
※消防学校職員や行政職員等、階級がない場合は、「階級」欄は「-」を入力すること

災害活動上

令和

年

月

～

消防署指揮隊長

消防本部枠等の場合は必要に応じ入力

緊急消防援助隊登録部隊名

(例) 指揮隊、隊長

○資格要件の「予定者」に該当する者及び「入校日」時点で資格要件を満たす者は、異動予定年月及び役職等を必ず記入すること  
○あわせて「受講資格の要件」欄にもその旨記載すること  
○具体的な就任予定時期が未定の場合は、資格要件の「予定者」には該当しない

○上記都道府県を選択  
○該当の所属名をブルダウン選択  
○該当のない場合は直接入力

○入校日と申告書提出時の所属等が異なる場合は、入校日(上段の欄)及び現所属(本欄)を記入すること  
例) R8.2の申告書提出時に消防本部職員が、R8.4に消防学校に異動予定で、R8.6に入校する者は、申告書提出時と入校日の所属が異なるため両方の連絡先を記載

○緊急消防援助隊に登録されている者は、以下について記入すること  
①指揮隊長コース⇒登録部隊名及び役割  
②上記以外のコース⇒登録部隊名

## 【記入例】実務講習申告書

所属	消防大学消防本部		氏名	消防 太郎
受講資格 の要件	<p><b>【消防本部・航空隊区分】</b>  ○以下の場合、入校資格の要件を記入すること（関係書類の添付でも可）  ①「受講開始日」時点で資格要件を満たす者 ⇒ 資格を満たす日及び資格要件の内容  ②指揮隊長コースのうち「交代要員等として指定される者」 ⇒ 交代要員等として指定される役割</p> <p>(①の例) 令和××年●月 事務分担見直しにより●月から●●の業務を担当  (②の例) 令和××年●月より、●●の代替要員である</p> <p><b>【消防学校区分】</b>  ○教科を担当する時期（予定含む）及び消防学校派遣期間（予定を含む）  （R8年度に従事する者は、当該年度の教育訓練計画及び事務分掌の添付でも可）</p> <p>(例) 令和××年●月～××年●月 消防学校派遣 ●●科担当予定（●●に関する課程を担当予定）</p> <p><b>【危機管理・国民保護コース・消防団活性化推進コース（行政職員）】</b>  ○次の①②の要件を記入すること  ①申請者の所属が、各コースに係る業務を担当する根拠（組織関係規則の抜粋等）  ②申請者が所属において、各コースに係る業務を担当する根拠（事務分掌の抜粋等）</p> <p>(例) ●●市●●規則第●●条により●●を所管  令和××年度●●市●●課事務分担により、●●に関する業務を担当  （該当条文の引用は「特記事項」欄に記入 又は 別途添付すること）</p> <p><b>【資格要件の職と同等以上の職にある者】※危機管理・国民保護コースのみ</b>  ○同等以上の職であることが確認できる書類を添付のこと</p> <p>(例) 当本部においては、●●の職は●●（内部規定等の理由）により●●長と同等の職である</p>			
特記事項 (装備品・根拠規程等)	<p>①高度救助・特別高度救助コース  ⇒ 「特別救助隊」、「高度救助隊」又は「特別高度救助隊」の区分を記入</p> <p>②NBCコース  ⇒ 所属部隊（予定含む）が装備する主なNBC対応資機材の種類（整備予定含む）を記入 ※型式・型番等は不要</p> <p>③航空隊長コース ⇒ 保有しているヘリコプターの機種及び台数</p> <p>(①の例) 高度救助隊（任意設置）等  (②の例) ●●車、●●車、●●機材、●●測定器 等  (③の例) 機種●●：●●台、機種●●：●●台</p>			
被服等 サイズ	長袖Tシャツ (サイズ：S・M・L・LL・3L)	L	✓一律調査のため、貸与・配布しない場合があります。	
	ケブラー手袋 (サイズ：S・M・L・LL)	L	✓男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にしてください。 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">ブルダウから選択</span>	
備考	消防本部移転のため、●月●日から所在地が変更 新住所：〒…………… TEL：変更無し <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">申告したい事項があれば入力すること</div>			

※消防学校において、派遣期間中の消防大学校への入校は、現任教官科、自主防災組織育成短期コース、消防団活性化推進コース及び女性活躍推進コースを除き、1回のみとすること。

## 4 入校経費

令和8年度における消防大学校の教育訓練の入校経費は次のとおり。

令和8年度 入校経費一覧表

(単位：円)

							(一財)消防防災科学 センター扱い分			指定業者 扱い分	
教 育 課 程			期・ 回	入 校 期 間 (教育期間)	入校(教育) 日数					寮使用 負担金	振込 締切日
					うち 入寮 日数	小計	教材費	視察 調査費			
学 科	総 合 教 育	幹部科	85	R8. 6. 8(月) ～ R8. 7. 23(木)	46	39	111,000	105,000	6,000	81,900	R8. 6. 3(水)
			86	R8. 8. 17(月) ～ R8. 10. 5(月)	50	43	111,000	105,000	6,000	90,300	R8. 8. 12(水)
			87	R8. 10. 9(金) ～ R8. 11. 27(金)	50	40	111,000	105,000	6,000	84,000	R8. 10. 6(火)
			88	R9. 1. 18(月) ～ R9. 3. 5(金)	47	40	111,000	105,000	6,000	84,000	R9. 1. 13(水)
		上級幹部科	90	R9. 1. 19(火) ～ R9. 2. 4(木)	17	17	40,000	34,000	6,000	35,700	R9. 1. 14(木)
		新任消防長・ 学校長科	36	R8. 5. 11(月) ～ R8. 5. 21(木)	11	11	33,000	27,000	6,000	23,100	R8. 5. 1(金)
		消防団長科	89	R8. 9. 14(月) ～ R8. 9. 18(金)	5	5	49,000	43,000	6,000	10,500	R8. 9. 9(水)
			90	R8. 10. 26(月) ～ R8. 10. 30(金)	5	5	49,000	43,000	6,000	10,500	R8. 10. 21(水)
	専 科 教 育	警防科	118	R8. 6. 11(木) ～ R8. 7. 30(木)	50	46	136,000	130,000	6,000	96,600	R8. 6. 8(月)
			119	R8. 10. 22(木) ～ R8. 12. 11(金)	51	47	136,000	130,000	6,000	98,700	R8. 10. 19(月)
		救助科	92	R8. 4. 15(水) ～ R8. 6. 8(月)	55	50	178,000	153,000	25,000	105,000	R8. 4. 10(金)
			93	R8. 8. 26(水) ～ R8. 10. 19(月)	55	50	178,000	153,000	25,000	105,000	R8. 8. 21(金)
		救急科	88	R8. 8. 27(木) ～ R8. 10. 8(木)	43	39	106,000	103,000	3,000	81,900	R8. 8. 24(月)
		予防科	120	R8. 5. 27(水) ～ R8. 7. 14(火)	49	44	108,000	92,000	16,000	92,400	R8. 5. 22(金)
			121	R9. 1. 6(水) ～ R9. 2. 26(金)	52	46	108,000	92,000	16,000	96,600	R8. 12. 25(金)
		危険物科	21	R8. 11. 5(木) ～ R8. 12. 7(月)	33	29	91,000	84,000	7,000	60,900	R8. 10. 30(金)
		火災調査科	50	R8. 5. 28(木) ～ R8. 7. 15(水)	49	45	344,000	338,000	6,000	94,500	R8. 5. 25(月)
			51	R8. 10. 15(木) ～ R8. 12. 4(金)	51	47	344,000	338,000	6,000	98,700	R8. 10. 9(金)
		新任教官科	20	R9. 3. 1(月) ～ R9. 3. 11(木)	11	11	34,500	32,000	2,500	23,100	R9. 2. 24(水)
		現任教官科	10	R9. 3. 1(月) ～ R9. 3. 12(金)	12	12	36,500	34,000	2,500	25,200	R9. 2. 24(水)
実 務 訓 習	緊急 消防 援助 隊	指揮隊長コース	31	R8. 5. 7(木) ～ R8. 5. 21(木)	15	11	31,000	25,000	6,000	23,100	R8. 4. 28(火)
		高度救助・ 特別高度救助	16	R9. 2. 3(水) ～ R9. 2. 19(金)	17	17	64,000	53,000	11,000	35,700	R9. 1. 29(金)
		NBCコース	16	R9. 1. 7(木) ～ R9. 1. 28(木)	22	17	66,000	60,000	6,000	35,700	R9. 1. 4(月)
		航空隊長コース	26	R8. 12. 3(木) ～ R8. 12. 16(水)	14	10	38,000	27,000	11,000	21,000	R8. 11. 30(月)
	防 災 機 関 教 育 課 ・ 消 防 団 活 性 化 推 進 課	危機管理・国民 保護コース	16	R8. 4. 20(月) ～ R8. 4. 27(月)	8	8	16,000	16,000		16,800	R8. 4. 15(水)
		自主防災組織 育成短期コース	27	別途通知 (令和8年10月から12月までの 間に毎月1回、開講予定)	2						
			28		2						
			29		2						
	消防団活性化推進 コース(行政職員)	19	R8. 9. 2(水) ～ R8. 9. 8(火)	7	7	15,000	15,000		14,700	R8. 8. 28(金)	
	そ の 他	女性活躍推進 コース	11	R8. 12. 10(木) ～ R8. 12. 18(金)	9	5	17,000	17,000		10,500	R8. 12. 7(月)
査察業務マネジ メントコース		10	R8. 7. 22(水) ～ R8. 7. 28(火)	7	7	15,000	15,000		14,700	R8. 7. 16(木)	

**【入校経費に関する問合せ先】**

消防大学校庶務課

TEL : 0422-46-1711, FAX : 0422-47-9192





## 5 e ラーニング及びリモート授業における学習推奨環境

e ラーニングは消防大学校における教育訓練の一部であり、入校後の効果的・効率的な教育訓練の実施に資するものであることから、入校（受講）前に、指定された科目を確実に修了する必要がある。

一方、リモート授業は消防大学校における入校期間（教育期間）中に、消防大学校への入寮（宿泊）を要せず入校学生の所属消防本部や自宅等においてリアルタイムで受講する必要がある。

このため、入校（受講）推薦者の任命権者は、当該入校（受講）推薦者に対してソフト面（学習時間の確保、業務との両立の配慮、職場の理解の促進等）及びハード面（パソコン等の優先使用の配慮、学習スペースの確保等）の学習環境を準備及び提供する必要がある。

### (1) e ラーニング

#### <対象>

- 学 科：幹部科、警防科、救助科、救急科、予防科、危険物科及び火災調査科
- 実務講習：NBC コース及び女性活躍推進コース

#### ① 推奨環境

インターネットを利用して、e ラーニングを円滑に行うための、ハード面の推奨環境（必要スペック）は次のとおり。

##### ア. インターネット

光回線、CATV 等のブロードバンド接続

##### イ. システム

- OS：Microsoft Windows 11  
Mac OS 12 以降
- 閲覧ソフトウェア（ブラウザ）：Microsoft Edge / Firefox / Chrome / Safari  
※いずれも、最新バージョンを利用のこと。
- メモリ：4GB 以上推奨
- その他：ブラウザの設定で「Cookie」を有効に設定することができること。  
なお、**ネットワークのセキュリティ設定によっては閲覧できない場合がある**  
ので、詳細は各所属団体のシステム担当者等に確認すること。

#### ② その他

詳細は入校・受講許可者に別途連絡するとともに、個別に詳細な学習環境調査を実施する。

### (2) リモート授業

#### <対象>

- 学 科：上級幹部科、新任消防長・学校長科、消防団長科、新任教官科及び現任教官科を除く全ての学科
- 実務講習：指揮隊長コース、NBC コース、航空隊長コース及び女性活躍推進コース

#### ① 推奨環境

(1)①と同じ

#### ② その他

リモート授業は Google meet の利用を予定しており、詳細は入校前に別途連絡する。



## 6 その他

### (1) 新型コロナウイルス感染症等の対策

新型コロナウイルス感染症等をはじめとする感染対策については、入校前に消防大学校から連絡する。なお、直近の感染状況等に応じて外出制限など入寮中の行動に一定の制約を課す場合があることについて予め了解されたいこと。

### (2) 入寮中の食事について

入寮中の平日3食（朝・昼・夕）は、全て南寮1階の食堂<sup>(※)</sup>でとること（給食制）。

食事代は、入寮受付時に現金でお支払いいただくこと。食事代に係る諸手続き等については、各都道府県の消防大学校入校事務担当者あてに事務連絡を発出する。

※令和8年度食堂運営事業者：決定次第別途連絡する。

### (3) 携行品

学科・実務講習ごとの主な携行品は下表のとおりであるが、詳細は入校前に消防大学校から連絡する。

学科・実務講習			服 装											その他			
			制服・制帽・短靴・靴下	私服	活動服			アポロキャップ	編上げ靴 訓練用	防火長靴	運動靴	皮手袋 訓練用	雨衣	トレーニングウェア (教材搬送用)	マイナ保険証・認印	名刺	洗面用具等 身の回り品
					活動服	救助服	救急服										
学 科	総合教育	幹部科	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○
		上級幹部科	○	○	○			○			○	○		○	○	○	○
		新任消防長・学校長科	○	○	○			○			○	○	○	○	○	○	○
		消防団長科	○	○	○			○			○	○		○	○	○	○
	専科教育	警防科	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		救助科	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		救急科	○	○			○	○	○		○	○		○	○	○	○
		予防科	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○
		危険物科	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		火災調査科	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○
		新任教官科	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現任教官科	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実務講習	緊急消防援助隊	指揮隊長コース	○	○	○			○			○		○	○	○	○	○
		高度救助・特別高度救助コース	○	○		○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
		NBCコース	○	○	○(※4)				○	○		○	○	○	○	○	○
		航空隊長コース	○	○	○			○			○		○	○	○	○	○
	防災機関教育科・	危機管理・国民保護コース		○				○			○			○	○	○	○
		自主防災組織育成短期コース	別途通知														
		消防団活性化推進コース(行政職員)		○				○			○			○	○	○	○
	その他	女性活躍推進コース	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○
		査察業務マネジメントコース	○	○				○			○			○	○	○	○



## &lt;注&gt;

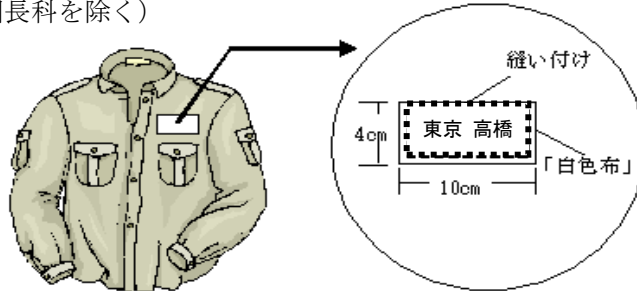
※1 制服は、学科の座学授業及び訓練礼式時に着用するものであり、以下の点に留意

- ① 制服は、所属機関が指定するものとする（女性も原則スラックス）
- ② 制服の袖章、襟章及び肩章は、着脱が可能であれば予め外しておくこと
- ③ 4月及び11月から3月までは冬服（白ワイシャツ着用）とし、5月から10月までは夏服とすること
- ④ 短靴は、黒系統の色とすること（ヒールが高くないもの）
- ⑤ 靴下は、黒・紺系統の色で無地（ワンポイント可）とし、着席時に素肌が見えない長さのものとする
- ⑥ 冬期に入校（入寮）する場合は防寒着を持参すること

※2 私服は、主に入寮受付時、校外研修及び実務講習（危機管理・防災教育科に限る。）の座学授業時に着用するものであり、以下の点に留意

- ① 男性はスーツ、ワイシャツ（白等）及びネクタイを標準とし、女性はこれに準じたスーツスタイルとすること
- ② 5月から10月まではクールビズ期間とし、ネクタイ及びスーツの上着は着用せず軽快な服装とすること（ワイシャツは半袖可とし、ポロシャツは不可）
- ③ 校外研修時は、A4サイズの資料が入るビジネスバックの持参を推奨する

※3 活動服は、実技授業時に着用するものであり、左胸ポケット上部に都道府県名及び姓を表示すること（消防団長科を除く）



※4 所属部隊の種別に応じた活動服を持参すること

※5 行政職員等で、所属指定のものが無い場合は持参不要であること

※6 教科書や資料等を搬送するため、丈夫で厚さ10cm以上かつA4サイズ以上が望ましいこと（消防大学校の売店でも購入可）

※7 名刺交換を行うため、100枚程度持参すること

## (4) 入校・受講受付等

消防大学校における寮生活においては次の点に留意すること。なお、詳細は学科・実務講習の開催ごとに個別に事前案内するとともに、入寮受付日においても説明する。

- ① 消防大学校内の学生寮の入寮期間は、1(2)の表中「うち消防大学校への入寮期間」参照
- ② 入寮受付時間は、入寮期間初日の10時00分から10時50分まで
- ③ 卒業・修了日の解散時間は別途連絡する
- ④ 消防大学校に携行品を配送する場合は、消防大学校への配送日時を「入寮受付日の午前」に指定するとともに、学科又は実務講習名を必ず記入すること
- ⑤ 消防大学校構内への車両の乗り入れ（入寮及び退寮時における送迎等）は禁止であること



## 【 よくあるご質問 】

### 入校・受講資格

**Q 1. 年齢の基準日を教えてください。**

A 1. 入校（受講）する年度の 4 月 1 日現在の年齢を基準とします。（令和 8 年度に入校（受講）する場合は、令和 8 年 4 月 1 日時点の年齢）  
申告書に生年月日を入力すると、自動計算で年齢が表示されます。

**Q 2. 上限年齢を超える者を推薦したい。**

A 2. 2 入校・受講資格(1) 共通事項①アに記載のとおり、年齢超過の場合は認めておりません。  
消防学校卒については、年齢条件は定めておりません。

**Q 3. 入校・受講資格の「〇〇業務に従事している者」とは、推薦時に当該業務に従事している必要があるのか。**

A 3. 消防大学校への入校時に、当該業務に従事していることが要件です。例えば、6 月入校の学科に入校させたい者が、推薦時点では別業務を担っているが、その後の人事異動で入校時点の 6 月は当該業務に従事予定である場合推薦いただけます。その場合は、申告書の予定欄に入力してください。

**Q 4. 「実務経験が 3 年以上」とあるが、推薦時点で 3 年未満の場合は推薦できるのか。**

A 4. 消防大学校への入校時点で実務経験が 3 年以上であれば推薦いただけます。

**Q 5. 専科教育で「実務経験が 3 年以上」とあるが、実務経験年数のカウントは主たる業務で 3 年以上が必要か。**

A 5. 主たる業務及び従たる業務を合算して 3 年以上であれば推薦いただけます。

**Q 6. 都道府県職員が人事異動により消防学校の教育訓練に従事することとなったが、実科訓練はどうすればいいのか。**

A 6. 消防吏員の経験がない者が消防大学校に入校・受講される場合は、例えば実火災体験型訓練は当該者は見取りに変更するなど、個別にカリキュラムを調整します。

**Q 7. 救急科の年齢要件引き下げに伴う経過措置とはどのようなものか。また、経過措置により入校を認められるためにはどのような資料を提出すれば良いか。**

A 7. 消防本部等において 50 歳が上限であることを念頭に派遣計画を立てており、今回の引き下げによる経過措置がないと派遣ができなくなる職員（46 歳以上）が具体的に存在すること（例えば、当該職員を来年度派遣することを前提にしていた計画表など）が確認できれば、全体の定数との関係はありますが、入校要件を満たすものと考えています。以上も参考に、具体的な状況を示す文書等を提出して下さい。書式は問いません。

### 入校（入寮）期間中

**Q 8. 業務により、一部の授業を欠席せざるを得ない場合はどうしたらよいか。**

A 8. 欠席時間数が一定以上の場合、当該学科・実務講習を修了したと認められないため、入校者（受講者）から担当教官にご相談ください。

**Q 9. アレルギーがあるが、食堂のメニューはどうなっているのか。**

A 9. 入校に先立ち、入校者（受講者）に問診票を記入いただきますので、アレルギー情報等を事前にお知らせください。

なお、入寮中の平日の食堂メニューには、食堂事業者において入手し得る範囲において、特定原材料（卵・乳・小麦・そば・落花生・かに・えび）を明示しています。

**Q10. 卒業日（修了日）の解散時間を教えてください。**

A10. 各学科・コースごとに解散時間は異なりますので、6 (4) ③に記載のとおり、卒業・修了日の解散時間は、担当教官から入校者（受講者）に別途連絡します。



## 入 校 経 費

**Q11. 入校経費の振り込みが、振込締切日に間に合わないがどうしたらよいか。**

A11. 個別に対応しますので、庶務課の入校経費担当までご連絡ください。

**Q12. 入校（入寮）期間中に食堂で食事をしなかった場合は返金されるのか。**

A12. 入校者（受講者）都合による場合は、返金はいたしません。ただし、消防大学校の判断により、学科・コースを中止した場合等は、未摂食分は返金します。

## e ラーニング

**Q13. e ラーニング受講開始までの流れはどのようになっているか。**

A13. 消防大学校から入校（受講）許可通知を送付の後<sup>(※1)</sup>、申告書の「入校推薦者」欄に記載のメールアドレスに、受講スケジュール及び受講科目等の詳細メールを送信します<sup>(※2)</sup>。

詳細メールには、受講者の連絡先や学習環境等を回答いただく項目がありますので、速やかなご対応をお願いします。

(※1) 事務手続の都合上、e ラーニング担当者からの連絡が先行する場合があります。

(※2) 入校（受講）許可通知のメール送信時に、詳細メールの「送信予定日」を記載します。

「送信予定日」を過ぎても詳細メールが届かない場合は、速やかに e ラーニング担当<sup>(※3)</sup>までご連絡ください。

(※3) fdmc-c2@soumu.go.jp / 0422-46-1713

**Q14. e ラーニングの実施に当たり、使用する端末の指定はあるか。**

A14. e ラーニングは、インターネットに接続できる端末であれば、パソコンに限らず、スマートフォン、タブレット等でも受講することができます。

ただし、教材（コンテンツ）はパソコンで表示することを前提として制作しているため、スマートフォン、タブレットでは見づらい場合がありますのでご注意ください。

また、一部の学科及び実務講習では、入寮前にリモート授業を実施します。リモート授業でパソコンを利用することも考慮し、パソコン<sup>(※)</sup>で受講いただくことをお勧めします。

(※) 推奨環境は P. 24 をご確認ください。

## そ の 他

**Q15. 予算要求に必要なため、次年度のスケジュールや入校経費を教えてほしい。**

A15. 予算要求においては、前年度の入校経費を参考にしてください。ただし、カリキュラムの見直しや物価上昇等の状況を踏まえ、減額・増額する場合があります。

次年度の訓練計画及び入校経費等については、例年 12 月中に策定し、都道府県を通じて周知します。入校期間や教育訓練内容を踏まえ入校経費を算定することとなるため、事前にお問い合わせいただいても回答いたしかねますのでご了承ください。



## 【 消防大学校へのアクセス 】

### <所在地>

〒182-8508 東京都調布市深大寺東町 4-35-3

TEL : 0422-46-1711 (代表), FAX : 0422-47-9192

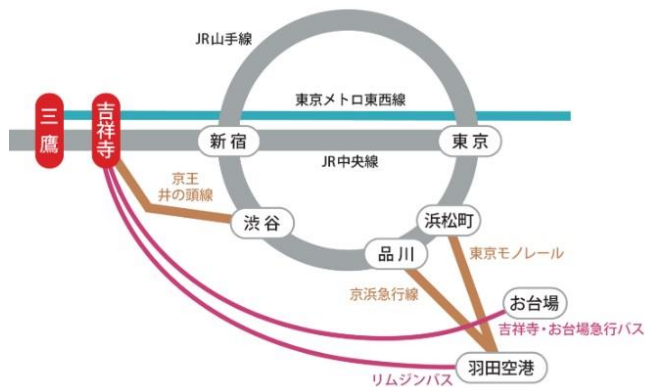
### <学生寮(不二寮)連絡先>

TEL : 0422-47-3066, 0422-47-3068

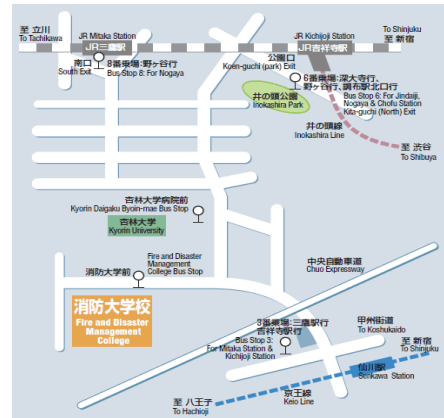
### <アクセス>

- (1) 羽田空港(東京モノレール) → 浜松町駅(山手線) → 東京駅(中央線)  
     → 吉祥寺駅(又は三鷹駅)  
     羽田空港(京浜急行線) → 品川駅(山手線) → 東京駅(中央線)  
     → 吉祥寺駅(又は三鷹駅)
- (2) 渋谷駅(京王井の頭線) → 吉祥寺駅(終点)

#### <東京駅から吉祥寺駅・三鷹駅までの略図>



#### <吉祥寺駅・三鷹駅から消防大学校までの略図>



#### \* 吉祥寺駅バス乗り場 \*

JR 中央線又は京王井の頭線 吉祥寺駅 公園口  
 小田急バスで 20 分(均一前払 250 円)  
 <6 番乗場より>  
 「調布駅北口(野ヶ谷経由)」行き  
     (系統番号 : 吉 05)  
 「深大寺」行き(系統番号 : 吉 04)  
 「野ヶ谷」行き(系統番号 : 吉 04)  
 ⇒「消防大学前」バス停下車すぐ



#### \* 三鷹駅バス乗り場 \*

JR 中央線 三鷹駅 南口  
 小田急バスで 20 分(均一前払 250 円)  
 <8 番乗場より>  
 「野ヶ谷」行き(系統番号 : 鷹 55)  
 ⇒「消防大学前」バス停下車すぐ

